

大阪府高齢者大学校との交流会に参加

SA吹田、歌体操の実技でリラックス・ムードに

副会長 金馬弘昌(20期 国際)

去る7月13日、大阪高大の要望により、現役生とSA連協(特定8地区SA)との交流会が高大で開催された。初めにSA連協理事長より、課程を終了後は是非地域SAに参加され、新しいエネルギーを注入して欲しいとの要望を込めた挨拶がなされた。

そのあと、SA3地区よりそれぞれ活動状況・実績の報告に入った。持ち時間が15分と短く、SA大阪、SA堺とも、広範囲に細かく説明されたので、司会者のタイムアップの声に追われて、お気の毒にせわしい報告であった。

最後の発表としてSA吹田が登場。小川会長の適切な要をえた概況説明後、会場の受講生とともに歌体操を実演する趣向。歌体操部会の藤川、加藤、井口さん3人のエースが登場。歌を歌うと気分転換になるのは勿論、エネルギーをも発散させる。加藤さんの優しいメリハリのある説明後、手拍子で歌う曲は、昭和38年の「高校三年生」。受講生の多くは、これが流行当時高校生で、夢多き時代であったろう。

当時日本は東京オリンピック開催、新幹線、高速道路開通等、高度成長の良き時代であった。懐かしさが顔・声にまで滲み出る様な雰囲気ですごう人達。

指の体操も受講生の心を捉えた。指の折り曲げ、特に左、右手逆に曲げるのは、頭で判っても順に指を曲げられないもどかしさ。辛抱して懸命に繰り返す彼らの姿に新鮮なパワーを感じた。「青い山脈」「手のひらを太陽に」の歌に合わせて上肢の体操と続く。歌いながらの「トンボ、カエル、ミツバチ」の手の振り付け等、歌体操の魅力に浸っていただいた一時であった。最後に会長から、高大で歌体操の件でご協力できることがあれば、協力したいとの表明があった。

次に地区ごとの交流懇談会が開かれた。高大の教育指導によるのか、受講生の活動への意欲と積極性を感じる。夏期にかけて、現状を知り、活動目標の決定のため改めて機会を持つことを相互で約束した。来期の加入とその活躍を期待したい。



現役生との交流懇談会



全員参加で歌体操

“小学生と外国人との交流授業” 3 年目へ

国際交流部会長 田尻駿一郎(17期 国際)

国際交流部会(SA吹田・心ふれあいネット)は

国際理解教育の一助として、吹田市立の小学校に対し「子ども達に外国人との交流の機会を提供する授業」を行なっています。2007年度4校、2008年度9校で実施いたしましたところ、市教育委員会、学校、児童、外国人の評判もよく継続的な活動が望まれています。

本年もすでに15校からの申し出があり、2 - 3学期に実施予定しております。

また、2年目よりは「大阪府福祉基金地域福祉振興助成金」を活動資金にしております。

昨年の実績を見ると

参加児童 850名 参加外国人 延べ40名 参加SA吹田および一般のボランティア延べ40名
「ロシア、マレーシア、ブラジル、アメリカ、メキシコ、ドミニカ、韓国、タイ、スリランカ、中国、ケニア、コンゴ、台湾、インド」の14カ国に亘る外国人でした。

実施内容は

学年・人数などによりバリエーションはありますが、以

下のような基本プログラムで行なっています。

国当て自己紹介(どこの国の人かを当ててもらう)

外国人によるお国紹介(パワーポイントで紹介する外国人が増えた)

各国語の「挨拶」「数の数え方」「動物の鳴き声」など紹介

外国人と小学生のパフォーマンス交換(歌、演奏、あそび)

外国人と給食をともにする

中には、「お米を食べる国のひと」とか、「アフリカの人」とか、「英語でゲーム」などの個別注文もありました。

一番の問題は

外国人の動員です。おもに日本学生機構(JASSO)の大阪第一国際交流会館と大阪日本語教育センターの留学生、及び個人のツテによる在留外国人を中心に行なってきました。しかし、授業の実施が短期間に集中するため、必要なときに必要な人数の外国人を動員することがむずかしくあらたな供給源を探しているところです。



千里たけみ小



岸部第一小



古江台小

車椅子の体験に参加して

檜原 君江(16期 福祉)

梅雨の晴れ間を絶好の機会と、去る7月10日に福祉部会主催の車椅子体験があり、それに参加しました。

講師は社会福祉協議会の森本係長と西さん。初めは教室で、車椅子の各部所の名称説明。更に、小・中学生を対象とした「車いす体験授業」を支援する観点からの要点が説明されました。その後、教室を出て実際に車いすの体験をおこないました。

介助者が守るべき注意事項として

安全操作のポイント

車いすから手を放さない

手を放す場合、また乗り降りの際は必ずブレーキをかける。

前進、行進、回転など、動くときはゆっくりと、また搭乗者に声をかける

搭乗者の手はアームレストに、足はフットレストにあることを確認する

段差操作のポイント

段差の上り際は、キャスター(前輪)を段に上げてから、後輪を段に乗せせる。

段差の下り際は後ろ向きで、後輪を下ろした後、キャスターを上げて後に引く。

キャスターを上げてヒティングレバーに足を掛けて、体重を乗せると、前輪が上がる。

押し方

動き始める時には必ず声を掛ける。

急にスピードを出さない！ 急に止まらない

急に方向転換しない！

次の車いす体験では、2人1組になって、車椅子でエレベータに乗り、ロビーを通過、外で段差通過の練習をしました。講義を聞くのと、自分で動かすのとは大違いで、思うように動かず大変でした。

選手交代で段差の練習をして、エレベータに乗り2階に戻りました。3年程「つくも」で、エレベータに車椅子を4台乗せて、1階の喫茶にお連れしていました。「人様を怪我させたらあかんで」との息子の助言も上の空で、何も考えず車椅子を押していました。

以前亥の子谷コミセンでボランティアをしていた時、本日の講師の森本さんもお勤めでご面識がありました。この体験を小・中学生に教えるのは大変ですが、怪我をさせないように明るく、楽しく、共に学んでいきたいと思います。



今月は「高齢者疑似体験」を開催します。どなたでも参加できます！！

日時:平成21年8月14日(金) 13:00～15:00

場所:総合福祉会館 2階 第1会議室(13:00までにご集合ください)

加齢により、視る・聴く・筋力・姿勢維持などに不便を感じます。これらを道具を使って体験します。その体験を小・中学生対象の福祉教育支援のためにも役立てます。尚、この体験用用具はS A吹田が今年度のニッセイ財団よりの基金として贈呈されたものから揃えました。当日はズボン、靴など動きやすい服装でお集まりください。

福祉部会長 三好桂子(13期 地域)

「ボランティア活動登録」と「福祉ボランティア派遣事業」にご参加ください

SA吹田では今年度の活動として、地域で活躍されているボランティア活動の実態把握と将来のネットワーク作りのためにボランティア活動登録へのご参加をお願いしています。また、登録されたグループが定期的に無償でボランティア活動された場合に、一人一回について200円を補助する「福祉ボランティア派遣事業」を発足させました。こちらにも積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。詳細は折込の説明をご参照願います。

「ファイン手帳」2010～2012版受付け開始

おなじみの「ファイン手帳」(2010 2012 版)の受付けが始まりました。

販売定価400円(団体発注の場合) 申し込み先: 8月20日までに、SA吹田役員宛に、氏名、部数をご連絡ください。

総務で取りまとめ団体発注します。販売日: 2009年10月1日

(SA連協から)

SA吹田 活動予定				
SA吹田	日時	内容	担当	場所
8月14日(金)	1000～12,00	8月度SA吹田役員会	総務	総合福祉会館
8月14日(金)	1300～1500	高齢者疑似体験	福祉部会	総合福祉会館
8月17日(月)	1000～1200	歌体操部会	藤川安高	メイシアター
8月31日(月)	900～1200	印刷、ブロック長会議	広報、ブロック部会	亥の子谷コミュニティセンター
9月11日(金)	1000～1200	9月度SA吹田役員会	総務	総合福祉会館

おもちゃ 関係	日時	内容	担当	場所
8月13日(木)	1000～1600	木っ端細工、昆虫、動物工作	小川忠夫	吹田市図書館
8月19日(水)	1330～1530	夏休み親子おもちゃ作り教室	小北月子	千三公民館
8月22日(土)	1000～1600	午前、午後共各16名 木っ端細工、昆虫、動物工作	小川忠夫	亥の子谷コミュニティセンター
9月4日(金)	1300～1500	東佐井寺幼稚園フェスティバル	八木秀雄	東佐井寺幼稚園
9月4日(金)	1300～1500	吹田南幼稚園フェスティバル	小北月子	吹田南幼稚園
9月12日(土)	1000～1200	おもちゃづくり市民塾	小北月子	北千里公民館
9月13日(日)	1000～1500	よっといで祭り	八木秀雄	南千里公園
高齢者ケア 関係	日時	内容	担当	場所
8月8日(土)	1400～1500	歌体操	加藤昌子	グループホーム「たんぼぼ」
8月19日(水)	1400～1500	歌体操	船田弘子	「スローライフ千里」
8月21日(金)	1400～1500	歌体操	加藤昌子	弘済院第2特養

編集後記

いよいよ暑い夏の季節となります。子供の自由研究や宿題などがあって「おもちゃ関係」は手の休まる暇もない向きもいらっしゃるかと思います。暑さには充分留意されご活躍ください。

会員の皆様からの投稿記事をお待ちしています。ボランティア体験記事、呼びかけ記事、趣味、地域の話など、なんでも結構です。文章は短いほど望ましいです。写真があればベストです。よろしく!!

(今月の編集担当: 村松)